

ごんた坂

第31号

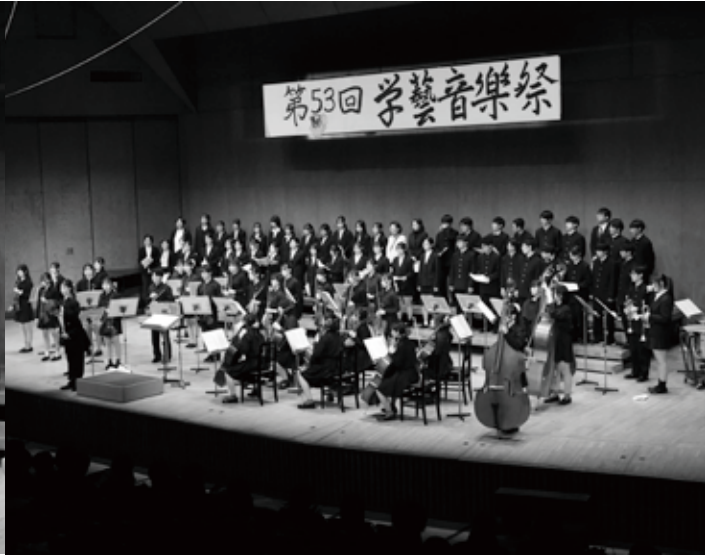
光陵高校同窓会会報

〈発行所〉 神奈川県立光陵高等学校光陵会

〈印刷所〉 SALAT 株式会社 サラト



©大塚典幸



私のお願い

会長 太田 秀和 (2期)

今年は1期生に続き、我々2期生も後期高齢者になります。まさに人生の終盤、これからも仲間達と楽しい思い出を作っていきたいものです。

2月3日、神奈川県立音楽堂で第53回学芸音楽祭が開催されました。母校のご厚意で光陵会のスタッフも観客として出席させていただきました。課題曲と選択曲の2曲を合唱します。1年生8チームの課題曲は光陵高校の歌、いわゆる校歌です。混声四部合唱の校歌を満喫することができました。午後からは部活の発表会がありました。フィナーレは観客席と舞台が一体となって校歌を歌いました。圧巻でした。

光陵会の皆さんにも、現役光陵生の活躍を是非見ていただきたいと思いました。母校をお願いして、卒業50年の節目を迎えた同期の

皆さんを、このような機会に招待していただきたいと思っています。その際、招待された同期の皆さんには、母校への寄付をお願いできれば幸いです。同期会で取りまとめ、学音祭で学校に寄付をお渡しできたら良いのではないのでしょうか。卒業生にとっても、校歌を歌えば、いくつになっても、あの頃にもどれます。同じ思い出を共有する仲間と集まる喜びこそ光陵会の本当の価値です。

もう一つお願いがあります。光陵会副会長で4期の山本勉さんは日本美術史の研究者ですが、すでにこれまで出されたほとんどの著作を高校に寄贈してくださっています。光陵会の皆さんの中で山本さんのように著作をお持ちの方は多いと思いますが、是非母校にご寄贈ください。図書館の一角に卒業生コーナーができ、充実していったら、こんなにうれしいことはありません。

いつもながら私の願いを一方的に書かせていただきました。光陵会の皆さんのご健康と光陵高校のご発展を心から願っております。

光陵高校4年生、兼局長

事務局 石野 誠力 (57期)

日頃から光陵会の活動にご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございます。私は昨年3月に光陵高校を卒業し、4月からは光陵会事務局局長として活動してまいりました。そこから早くも1年が過ぎ、気がつけば会報が発行されてお届けできていることに驚きを感じます。

3年通った光陵高校を卒業した後、局長として携わったこの1年で、光陵高校は2つの顔を僕に見せてくれました。1つは、月に一度の定例会で母校に足を運び、大学生となり変わっていく環境の中でここだけは変わらないという安心感を抱ける場所。2つ目は局長として事務局の先頭に立ってピシッとやるぞ、と決意を新たにす場所としてです。

昨年度の光陵会の活動として特筆すべきは、コロナ禍以来6年振りに光陵にて総会を行えたことです。当日は局長としての挨拶もあり大変緊張しましたが、その後の懇親会では先輩方に温かく接していただき光陵のつながりを実感しました。準備から当日の進行に事

務局全員で携わり成し遂げたという経験を「光陵高校4年生」として光陵の思い出に書き加えることが出来ました。総会・懇親会に限らず、光陵祭や校歌祭にも光陵会の一員として、参加をすることが出来て爽やかな1年だったと感じます。

光陵会事務局は大学生という身でありながら、同窓会組織の運営の中心として関われる貴重な経験を積めるのが他校にない特徴です。例年は事務局を1年間経験した後に局長になると言われ、不安な1年でもありました。大学生として新しい生活に溶け込んでいく中、同期とともに高校3年間を思い出の中に燻ぶらせず、母校のために一生懸命頑張っていく中で僕自身も同期も皆、成長を感じています。支えてくださる先輩方の仕事ぶりに追いつけるよう、そして新しく入ってきた58期の後輩たちにかっこいいところを見せられるよう、本年もよりいっそう頑張らせていただきます。

光陵高校は今年で60周年を迎えます。この会報はすべての「光陵生」がつながれるよう、事務局が全力を尽くして作り上げてきましたので、ぜひ楽しんでいただければと思います。最後になりましたが、会報の発行に協力して下さったすべての方々へ心から感謝申し上げます。

年表とインタビューで振り返る 光陵高校の大規模工事

2018年3月より、光陵高校は地震時の安全性を確保するとともに、建物の長寿命化を図るため、校舎や教育施設の改修及び耐震補強工事を行ってきました。今回は、その全容を工事期に実際に光陵高校で過ごした生徒や先生による振り返りとともに、紹介したいと思います。

2018

2018年4月に
プレハブ校舎設置

2018年9月に、1棟校舎の改修工事が始まりました。当時の1年生(53期)と2年生(52期)の教室や職員室などの第1棟校舎にあった機能がプレハブ校舎に移りました。



2018年夏頃撮影

2019

1棟改修工事

1棟の改修工事は2019年の11月までの約1年で終了し、プレハブ校舎に移っていた教室や職員室などの一部機能が本校舎に戻りました。

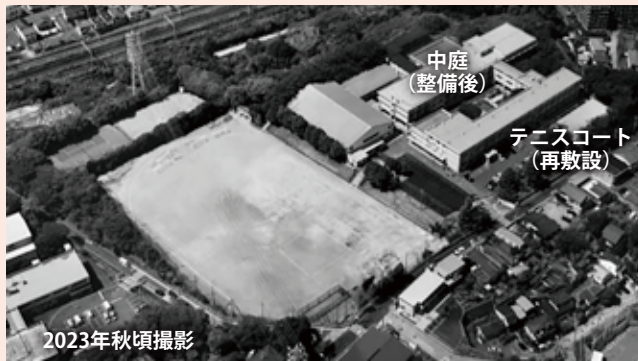
2020

2020年の3月からは2棟校舎の改修工事のため、1棟の横に新しくプレハブ校舎を設置しました。

2021

2棟改修工事

2棟の改修工事は2020年11月から翌年の2021年12月まで行われました。その後、プレハブ校舎からすべての機能の引っ越しを完了したことで、校舎の改修工事は終了となりました。



2023年秋頃撮影

2022

2022年6月に
プレハブ校舎解体

2022年10月から2023年11月にかけて体育館の改修工事が行われました。

2022年10月～23年11月
体育館改修工事

体育館の隣にある柔剣道場(小体育館)は、2026年度中の改修工事の予定があるそうです。

プレハブ校舎で過ごした生徒たちの声

- ・1年生の間プレハブ校舎で過ごしましたが、比較的キレイ、トイレの数が多く、冷房の効きがいいなどの点から過ごしやすかったです!
- ・54期が1年生だったころ大雨で放課後帰れなくなったことがありました。当時は大変だったけれど、プレハブの中でみんなと帰れないって過ごす時間もなんだか青春でした。プレハブが無くなる前に写真部でプレハブの写真を思い出に残す会をやったこともありました!
- ・プレハブ校舎はとにかく足音が響く。教室の扉の開け閉めも、階段登るのにも音が響いてすごかった…。隣のクラスの授業の声もよく聞こえた。グラウンドにプレハブを立てていたから、体育や屋外の部活動の

- 様子がよく見えた。校庭で体育祭ができなかったから、保土ヶ谷公園のラグビー場を借りてやってたな。テニスコートを潰されてたからテニス部が怒ってた。
- ・校庭と近いから砂が入ってくるのが多く、掃除が大変だった印象があります。
- ・昇降口を使わず2階から校庭へ直接行く人がいた。
- ・プレハブは最初不安だったけれど、思ったよりも綺麗だった。
- ・吹奏楽部でした。当時、2棟3階の視聴室から楽器を持ってプレハブの教室まで移動するのが大変だった…!

蘇武校長「意外と居心地よかった」



光陵高校の職員として、長年学校の変化を見守ってこられた蘇武 和成（そぶ かずなり）先生にインタビューを行いました。先生は教諭として約10年間在籍したのち、副校長として再び赴任し、現在は校長として光陵を支えています。

校長紹介

蘇武校長先生は1999年に光陵高校に赴任され、2009年までの10年間教諭として務められました。教育委員会に異動された後、2019年に再び光陵高校に副校長として帰ってこられました。2025年には第21代校長として着任され、伝統に新しさを取り入れながら光陵高校の教育活動を推進されています。教諭時代には当時軽音同好会だったLMCの顧問を務め、部活動に押し上げました。教員バンド「ソプラデス」をご存じの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



左：57期 寺田湧人 右：蘇武校長

1. 耐震工事は蘇武先生が副校長先生として在任していた時期に始まったと思われませんが、工事はどのような様子でしたか。

2年間いたうちの1年目は、1棟が工事中だったのでプレハブにいました。校舎とグラウンドとの間（今は一面アスファルトの場所）にプレハブ1棟が建っていて、職員室や校長室も含めそこにありました。私は副校長だったので、職員室の大部屋に自分の席がありました。1年経って、1棟を使えるようになったので、こっち（1棟）に引っ越しをしてきたという感じでしたね。

2. プレハブ校舎について印象に残っていることはありますか。

赴任する際に、工事を始めるからプレハブ校舎になるとは聞いていたので「どんなもんだ」と思っていたら、これが意外と居心地が良かったです。今の1棟校舎内にある職員室よりも広がりました。ただ、プレハブが校庭にも建っていましたからね、グラウンドが十分に使えない状況ではあったので、部活動などはとても不便でしたね。

3. 工事をしている期間は、生徒たちの様子で変化を感じたことはありましたか。

私が見ている限り、生活状況自体はそんなに変わらないですね。むしろ、教員の方が変化を感じていたのではないかな。生徒たちは順応性があるなと感じましたね。生徒たちってちょっと耐震工事で不便であっても、不便な中を工夫して、頭を使って、「みんなで協力してなんとかしようぜ」ということで、修正をしながら、ちゃんと、自分たちで幸せな空間を作り出そうって形でやっていたのですよね。たぶん生徒たちの中で「耐震工事があるから、俺たちの高校時代は終わった」というふうに言いたくなかったのでしょうか。

4. 最後にこの記事を読んでいる光陵高校卒業生の方々に向けてメッセージをお願いします。

現役の生徒たちがやりたいことをできているのは、支えてくださっている保護者の方や光陵高校の教職員、光陵会の皆さんのおかげでございます。様々な方のバックアップのおかげで、光陵高校で様々なことができる状況に今あるのだということを実感しております。本当にありがとうございます。

インタビュー後記

今回のインタビューを通じて、より良い教育環境のためにアップグレードを続けている光陵高校耐震工事の全貌に迫ることができて面白かったです。私はプレハブ校舎が撤去される時期に光陵高校に入学した世代のため、自分が光陵に関わる前の「時間」を知り歴史の面白みを改めて感じました。これからの光陵高校がより楽しみになりました！（57期 寺田湧人、57期 丸山春華、57期 諸原花夏、57期 川北姫生）

▶ 購買に現れた期待の新星に迫る!! ▶

「ごんたん弁当」誕生秘話!!

2024年、光陵高校の購買に新たな定番メニューとして光陵生が開発した「ごんたん弁当」が並びました。総合的な探究・学習の時間であるKU（光陵ユニバース）にて開発を行った57期の草深桃香さん、遠藤和葉さん、長谷川実優さんの3名に取材を行い、その様子をまとめました。

購買での思い出と人気のメニュー

はじめに、当時の購買での思い出を振り返り、それぞれの好きだったメニューを聞いてみました。草深さんは毎日昼休みの時間に食べるほどたい焼きが、長谷川さんはあげ餅が好きだったそうです。記事を書いている私は月見パーカーがお気に入りでした。また、購買には冬限定のあまおう苺サンドなど季節限定の商品もあり、それも魅力の一つでした。利用頻度は人それぞれで、週4回ほど利用する人もいれば、たまにお菓子やミルクティー、キャラメルラテなどを買うという人もいて、生徒たちの学校生活の中に溶け込んでいました。

研究のプロセスと「ごんたん弁当」の誕生

草深さんらはKUで高校生の生活環境についての研究を行いました。この研究は、「高校生がお弁当だけで十分な栄養を摂取できているのか。」という疑問からスタートし、最終的に「購買をより活用できないか。」という身近な視点から、高校生の食生活と栄養について研究することに発展したそうです。彼らは2年生の春に学年全体へアンケート調査を行い、当初は手探り状態の中で研究を進めていましたが先生の助言をきっかけに光陵高校の購買に商品を卸している「ドリームベーカリー」へ直接交渉を行いました。11月にはおかずの開発に取り組み、スクランブルエッグや梅紫蘇キュウリ、キャベツとちりめんじゃこなどの試作を行いました。校長先生や副校長先生への試食の依頼、さらには企業への訪問など、高校生としては緊張するような場面も多かったものの、周囲の支えを受けながら研究を進めたそうです。お弁当の名前は、学内に向けて行ったアンケートから「ごんたん弁当」に決まりました。自分たちが考案したおかずをクラスメイトや後輩に試食してもらい、「美味しい」と言ってもらえたことがその後の大きな原動力となったそうです。



左から池野、石野、遠藤さん、長谷川さん、草深さん

研究を通して得られた喜びと達成感

お話を聞いていて最も印象的だったのは、外部の会社との連携です。KUの一環で電話をした際、「ドリームベーカリー」の社長さんが「高校生の挑戦とのことで全面的に協力する。」と快諾してくださり、改装したての調理室で試作をさせてもらうなどの貴重な経験につながったそうです。草深さんが以下のように話してくださいました。彩りだけでなくコスト面への配慮など学生には難しい観点から「ちりめんじゃこ」を「桜エビ」に変更するなど、実際の販売に向けたシビアな調整もありましたが、自分たちが作ったポスターが店内に掲示され、Yahoo!ニュースに掲載されたときはとても驚きました。何より、販売初日に「ごんたん弁当」が即完売し、アンケートで「この弁当が生きがいです。」という声をもらったことは、今でも忘れられない大切な思い出です。一般的に2年の冬でKUが終わる中、受験を控えた3年生の9月までKUをやりぬいた甲斐がありました。



購買に並ぶごんたん弁当

今再びごんたん弁当に向き合うなら

草深さんらが研究していた段階では、主菜は企業側に委託してルーティーンで提供されていたため、再びメニューを開発できるなら、主菜にも挑戦したいとのこと。現在、この活動は後輩たち（主に59期）に引き継がれており、新しいメニューの開発が進んでいると聞いています。彼らの活動が一時的なもので終わらず、続いていくことを私たちも非常に嬉しく思います。

編集後記

校内の活動に留まらず、外部との繋がりを持ちながらKUの探究活動を行った同期の貴重なお話を聞くことができ、改めて刺激を受けました。KUの活動によって得た経験を楽しむ姿が印象に残っています。KUの活動を通して彼らは学生でも今までにないものを生み出せることや、KUの活動を外部に広げていくことの可能性を示してくれました。今後も活動の幅を広げていく光陵生から目が離せません。

(57期 石野誠力、池野弘葉、井口心晴、芝池颯)

卒業生からの便り

- 総会特別講演される講師の田沼光明氏の写真を拝見して、当時の面影を感じ、とても懐かしく思いを馳せていました。(学生時代を思い出してニッコリしてしまいました)(6期)
- 2023年3月の「光陵高校 キャリアガイダンスセミナー」で、「全国通訳案内士(英語)」「総合旅行業務取扱管理者」試験に合格して、2024年、旅行業界進出を宣言しました。1年遅くなりましたが、無事にどちらにも合格し、2025年4月に「通訳ガイド」デビューしました。80歳くらいまで、インバウンドのお客様に街歩きを通じて日本の素晴らしさをご紹介することが、今後の野望です。(8期)
- 4月に境木中→光陵に進んだ同期会に参加しました。48年ぶりの再会でした。(9期)
- 校舎の写真をみると、耐震補強は入っていますが、私が卒業した時のまま。嬉しいような、心配なような。(12期)
- ここ数年、クラス仲間で集まるようになりました。楽しいひと時です。(12期)
- 先日光陵会名簿を購入し、見ていましたら教えていただいた先生方がかなりご逝去されていて、年月が経ったことをより実感いたしました。卒業式の、ちょっと待った一がなくなったのですね。三大行事は是非継続してほしいです。(14期)
- 校歌の「光陵我をつくり 我ら光陵をつくる」という歌詞を実感している人が多いからこそ、光陵は愛校心の強い人が多いのではないかと感じています。(15期)
- 会長他事務局の皆様方、いつもありがとうございます。定年を迎える光陵時代からの仲間も増え、交流が再び活発になる兆し。(15期)
- 会報「ごんた坂」いつも悦しく拝見しております。ありがとうございます。(15期)
- また同窓会やりましょう。(16期)
- 事務局の皆様、お疲れ様です。いつも有難うございます。子育てが終わりましたが、親に手がかかるようになり、母校へも総会へも当分は顔を出せそうにありません。ごんた坂が届くのを毎回楽しみにしています。(17期)
- 西横浜駅や水道道のバス停で光陵生を見かけると懐かしく思います。(17期)
- ドイツの現住所に会報「ごんた坂」が届き、感動しました。ありがとうございました。(17期)
- 光陵会運営ありがとうございます。「ごんた坂」好きで、(普段は読み飛ばすような)巻頭の挨拶から最後まで熟読して、いつもなんだか楽しい気持ちになります。(18期)
- 今年度も会報を嬉しく拝見しました。次回も楽しみにします。(19期)
- 会報をいつも楽しく拝読しております。(20期)
- 遠方につき中々顔を出せませんが、いつもレポート楽しみにしています。(23期)
- 先輩でもおられたのですが、卒業後、教育実習生としてお世話になり、その後、教員として再び母校にて教壇に立つことができました。少し恩返しできたかな…と、昔の記憶と合わせて、よい思い出になりました。早くもリタイアしている身ですが、皆々様、くれぐれもお身体ご自愛ください。(24期)
- 実家も県外に移転して20年以上経過したので、光陵が物理的には遠くなりましたが、毎年ごんた坂の会報が届く度に高校時代を思い出します。高3時に、受験勉強と文化祭の両立に悩みながら、クラスの出し物の練習をしていたことが懐かしいです。(24期)
- いつもお忙しい中ありがとうございます。毎回懐かしく拝見させて頂いております。(30期)
- わたしが所属していたソフトテニス部では現役とOBOGのグループLINEがあり、毎月の練習や試合の予定を現部長さんがお知らせしてくれます。引退時には新旧部長がそれぞれ挨拶のLINEを流してくれますが、ほんとにみんなしっかりした立派な文章を書いていて、毎年その時期になると光陵生の素晴らしさを改めて感じます。(38期)
- 会報を読み、卒業式の「ちょっと待った」が無くなったことに少し寂しさを覚えつつ、一つ一つ色んなことをしっかりと考えて実行していくのはいつまでも光陵生らしいなあと思いました。今年は光陵祭に遊びに行ってみようかな？(42期)

お便り募集のお知らせ

光陵会では会員の皆様のお便り(ご意見・ご感想など)を募集しております。光陵高校で過ごした思い出や会報を読んで思い出されたことなど、ぜひお聞かせください。来年度の『ごんた坂』で一部をご紹介しますいただきます。ご投稿は8ページに記載のQRコード(総会・懇親会出欠フォーム)よりお願いいたします。

会報発行協力金のお願い

会報発行協力金にご協力いただき、誠にありがとうございます。

本会報の発行は2009年から名簿委託業者である(株)サルトとの共同事業の契約とし、会報発行費用は最大負担額を定めた独立採算制となっております。会員の皆様には、会報発行費用について賛助協力金として1口3,000円をお願いしております。本年度もコンビニエンスストアで決済可能な振込用紙を、失礼を承知の上で同封させていただきます。

PayPayなどのスマホ決済も可能になっております。

光陵会事務局は今後も存続し、母校への発展寄与のため力を尽くしてまいりたいと一同強く願っております。何卒、皆様のご理解とご

協力をお願いいたします。また、従来からお願いをさせていただいております光陵会への直接の賛助金も受け付けておりますが、これを機会にぜひ会報発行協力金にご賛同いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

※ 会報発行協力金は発行費用(約200万円)を上回ります賛助協力金をいただいた場合、上回った分の8割が光陵会への賛助となる仕組みです。

※ 同封の振込用紙は、郵便振込を利用されますと金額と住所の訂正が可能となります。コンビニエンスストアやPayPayなどを利用される場合は一律3,000円となりますのでご注意ください。

第21回青春かながわ校歌祭のお知らせ

開催案内

日時：2026年10月24日(土)

会場：南足柄市文化会館
(伊豆箱根鉄道大雄山線 大雄山駅徒歩5分)

主催：かながわ校歌振興会

共催：神奈川県教育委員会



今年も光陵会は青春かながわ校歌祭への参加を予定しております。練習日の予定など、詳細は光陵会ホームページ等でお知らせします。歌が好きな方、校歌を久しぶりに歌いたい方、期を超えた交流を楽しみましょう。本番当日のみの参加も歓迎しています。お問い合わせは光陵会スタッフ(staff@koryokai.jp)まで。

その経験、先輩として語りませんか?

キャリアガイダンス講師募集のお知らせ

光陵高校では毎年3月に、1・2年生を対象にした特別講座「キャリアガイダンス」を実施しています。現役生がさまざまな分野で活躍する卒業生から、進路選択の過程や職業経験などを聞く場を設け、将来のキャリア形成に役立ててもらい取り組みで、初開催から今年で20年続いています。現役生が今後の将来を考えるきっかけになるとともに、光陵の先輩とのつながりを感じられる貴重な機会となっています。

2026年は、3月7日(土)に対面とオンライン形式の併用で開催され、7～51期の卒業生約20名にご協力をいただきました。弁護士や薬剤師、広告、コンサルタントといった幅広い業種の方々それぞれ、光陵在学中の思い出や仕事でのやりがい、これまでの経験、苦労などを伝えてくださいました。生徒たちもメモを取りながら真剣に耳を傾けていました。また、講師の皆さんも久しぶりの母校の雰囲気に触れ、懐かしさを感じてくださったようです。

光陵会は講師をしていただく卒業生を母校にご紹介す

る形で、この取り組みに協力しています。趣旨にご賛同いただき、ご関心のある方はぜひ「光陵会事務局」(staff@koryokai.jp)までご連絡ください。光陵会が運営する、卒業生にご職業などの人材情報を登録いただく「光陵卒業生人材バンク」をご案内させていただきます。登録いただいた情報はキャリアガイダンスの講師紹介などに活用いたします。遠方にお住まいで来校が難しい方もオンラインでのご参加が可能です。全国でご活躍の卒業生の皆様、ぜひ、ご協力をよろしくお願ひいたします。



講師が在校生を前に経験を語る様子

📖 会員名簿の取扱いについて

光陵会では、2025年4月に皆様のご協力の下、会員名簿を発刊いたしました。光陵会では会員以外に会員名簿を配布することは一切なく、会員各位の情報が外部に漏れることのないよう、プライバシーマーク取得企業で名簿委託業者の㈱サルトとともに厳重に管理しております。皆様も名簿の取扱いには十分ご注意の上、外部への流出がないよう、ご配慮ください。

また昨今、光陵会の名を騙り、会員の皆様の勤務先への問い合わせや勧誘・物品販売などが行われているようですが、これらは光陵会とは一切関係ございません。内容を確認の上、適切にご対

応くださいますようお願い申し上げます。

なお、会員名簿のご購入を希望される方は下記までお問い合わせください。光陵会事務局からお手続きの詳細の連絡をさせていただきます。事務局の定例作業等での対応となりますため、お手続きには1ヵ月程度のお時間をいただく場合がございます。期間の余裕をもってご連絡いただけますと幸いです。なお、会員名簿の販売は、原則お一人様一冊までとなります。

宛先:「光陵会事務局メールアドレス」 staff@koryokai.jp

寄贈事業報告

光陵会では毎年、光陵高校に寄贈を行っております。2025年度は学校側からの寄贈品の希望が無かったため、寄贈は実施いたしませんでした。今後も有意義な寄贈が行えるよう取り組んでまいりますので、会員の皆様のご意見・ご要望がございましたら、ぜひ同封のハガキでお寄せいただけますと幸いです。

同窓生向け SNSのご案内

卒業後の交流の場として同窓生向けSNSが運営されています。加入希望、お問い合わせは下記へお願いいたします。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

URL : <http://www.koryo.gr.jp/sns/>
MAIL : koryo-kai-request@koryo.gr.jp
運営 : 光陵会メーリングリスト (koryo.gr.jp)

母校の最新情報

【進路状況】



<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/koryo-h/shinro/shinrojyoukyo.html>

【部活動実績】



<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/koryo-h/seikatsu/bukatsudou.html>

【教職員異動】



<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/y4g/prs/r3085002.html>

■ 2025年度総会・懇親会報告

開催日：6月7日(土)

総会 @光陵高校

以下の議事項目がすべて承認されたことをご報告いたします。
①2024年度決算報告 ②2025年度予算案審議 ③2025年度役員及び監査承認

特別講演

学校法人横浜学園理事長、高等学校長の田沼光明氏(7期)に「2025年教育新事情」というテーマで、教育現場の現状や問題点、AIとの関連についてお話しいただきました。

【会計報告に関する重要なお知らせ】

昨年の総会での会計報告において、前会計担当者による160万円の不正出金についてご報告いたしました。

本件は昨年3月の会計引継ぎ時に発覚し、直ちに役員・監査を含む調査チームにより不正出金額を把握いたしました。

当該担当者につきましては、事実関係を認めた上で、全額弁済計画について合意しております。

今回の事態を招いた根本的な原因は、残高が多額な口座の管理を一人に任せ、第三者が適時にチェックできない体制にありました。

役員一同、本件を重く受け止め、再発防止策を策定いたしました。

具体的には「小口支払用口座の分離」および「出納業務・印鑑・カードの複数名による分散管理」を導入しております。

引き続き再発防止策を講じてまいります。会員の皆様のご理解とご協力をいただき、このような事態を招きませんでしたことを深くお詫び申し上げます。

会計報告

2025年度決算

(2025/03/01~2026/02/28)

(収入の部)

入会費・終身会費	¥3,080,000
懇親会会費	¥404,000
賛助金	¥22,000
名簿売上	¥7,000
その他	¥46,495
雑収入	¥90,000
前年度繰越金	¥30,482,070
合計	¥34,131,565

(支出の部)

通信費	¥310,239
事務費	¥46,343
運営費	¥629,426
交通費	¥114,700
総会懇親会費	¥767,534
HP運用費	¥24,200
会報費	¥477,483
校歌祭費	¥80,366
光陵祭費	¥75,597
高校寄付費	¥0
設備予備費	¥49,679
特別損失	¥400,000
合計	¥2,975,567
収支差額	¥31,155,998

2026年度予算案

(2026/03/01~2027/02/28)

(収入の部)

入会費・終身会費	¥3,080,000
懇親会会費	¥520,000
雑収入	¥120,000
前年度繰越金	¥31,155,998
合計	¥34,875,998

(支出の部)

通信費	¥300,000
事務費	¥110,000
運営費	¥630,000
交通費	¥140,000
総会懇親会費	¥750,000
HP運用費	¥50,000
会報費	¥650,000
校歌祭費	¥160,000
光陵祭費	¥120,000
高校寄付費	¥400,000
設備予備費	¥150,000
60周年分担金	¥1,000,000
合計	¥4,460,000
収支差額	¥30,415,998

懇親会 @グレースバリ横浜関内

今年は久しぶりに光陵高校で総会を開催することができました。バス移動は遠足のような気分が味わえたと好評でした。今年も開催に向けて準備を進めてまいります。

～ 賛助金への御礼 ～

2025年度は5名の方々から計22,000円のご支援を賜りました。皆さまの温かいお心遣いに深く感謝いたします。

引き続きご期待に添える同窓会運営に努めてまいりますので、今後ともご支援とご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2025年度光陵会役員・監査・事務局

会長	太田 秀和(2期)
副会長	大道 正夫(4期) 山本 勉(4期)
	茅野 憲(7期) 中濱 ござえ(9期)
	荒木 宏之(19期) 藤原 直人(31期)
理事	安保 久(17期) 増田 祐徳(36期)
	増田 悠子(38期) 佐藤 楓(42期)
	藤居 悠人(43期) 渥美 菖(44期)
	加藤 圭祐(49期)
会計	菊名 直人(42期) 寺田 祐晟(52期)
	于 棋棋(52期) 笠間 結斗(54期)
	田中 愛実(56期) 榎田 空(56期)
	芝池 颯(57期) 高橋 心春(57期)
監査	上原 武(25期) 金子 周平(38期)
	萬 紗帆(46期) 中村 凧沙(49期)
事務局長	石野 誠力(57期)
副局長	高橋 歩希(52期) 牧野 暖登(52期)
	南 香帆(52期) 福丸 颯太(54期)
	野本 優菜(55期) 久保田 充喜(56期)
	井口 心晴(57期) 寺田 湧人(57期)
書記	池田 結香(54期) 堀部 琴(54期)
	清水 さゆり(55期) 亀井 るな(55期)
	横山 凛久(56期) 高橋 優玖(56期)
	川北 姫生(57期) 齋藤 慧介(57期)
	成田 将一朗(57期)

2026年度光陵会役員・監査・事務局

会長	太田 秀和(2期)
副会長	大道 正夫(4期) 山本 勉(4期)
	茅野 憲(7期) 中濱 ござえ(9期)
	荒木 宏之(19期) 藤原 直人(31期)
理事	安保 久(17期) 増田 祐徳(36期)
	増田 悠子(38期) 佐藤 楓(42期)
	藤居 悠人(43期) 渥美 菖(44期)
	萬 紗帆(46期) 加藤 圭祐(49期)
	南 香帆(52期)
会計	菊名 直人(42期) 寺田 祐晟(52期)
	于 棋棋(52期) 笠間 結斗(55期)
	田辺 春佳(55期) 芝池 颯(57期)
	出口 愛(58期) 亀井 琢正(58期)
監査	上原 武(25期) 金子 周平(38期)
	中村 凧沙(49期) 牧野 暖登(52期)
事務局長	石野 誠力(57期)
副局長	高橋 歩希(52期) 池田 結香(54期)
	久保田 充喜(56期) 井口 心晴(57期)
	寺田 湧人(57期) 洲崎 大知(58期)
	八幡 陽希(58期)
書記	堀部 琴(54期) 清水 さゆり(55期)
	川北 姫生(57期) 齋藤 慧介(57期)
	堀川 優真(58期) 福田 壺成(58期)

2026年度 光陵会総会・ 懇親会のご案内

2026年 6月20日(土)

総
会

14:00～16:00(13:30開場予定)

場所：神奈川県立光陵高等学校

オンライン開催(Zoom使用)も併用します

会費：無料

<議事次第(予定)>

- 1 2025年度決算・監査報告
- 2 2026年度予算案審議
- 3 2026年度役員及び監査承認
- 4 事務局活動報告等
- 5 特別講演



総会特別講演 「健やかな人生のために ― 看護と遺伝を知る ―」



講 師：^{たけだ}武田 ^{ゆうこ}祐子 氏

光陵高校1977年卒(9期生)
慶應義塾大学名誉教授

経 歴

- 1977年 県立光陵高等学校卒業(9期生)
- 1981年 千葉大学看護学部卒業
大学卒業後、国立がんセンター(看護師)および千葉大学看護学部(助手)勤務
- 2000年 東京医科歯科大学大学院博士課程修了 博士(看護学)
- 2000年～2024年 慶應義塾大学勤務

講演内容

健やかな人生を祈る無病息災は誰しも共通の願いです。長寿社会において、健康維持は個人の努力だけでは難しく、医療の活用がその一助となり、一病息災の時代とも言われています。

医療技術の進歩は目覚ましく、診断・治療共に確実に向上している一方、治療中の心身への負担、治療後の身体の変化などから「こんなはずではなかった」と思い悩み、後悔につながることもあります。医療はその人がどのような人生を送りたいのか、そのためにどのように医療を活用するのかという意思決定

を丁寧に行うことが大切です。それを妨げる要因として、治療を受ける立場としての遠慮や専門的知識などの壁の存在が指摘されています。その壁を取り除くための手助けは看護の役割の一つです。

また、病気と遺伝的素因との関連が解明される中、日本人の2人に1人が発症するがんに対しても、遺伝に着目したがん予防対策が講じられるようになっていきます。

講演では、健やかな人生のために、私が専門とする看護の働きやがんの遺伝医療についてお話しします。

懇
親
会

17:30～19:30(17:00受付開始)

場所：横浜イース グレースバリ4Fハママール
(横浜市西区北幸2丁目2-1 ハマポールイース4F)

会費：一般料金 10,000円
特別料金(現旧職員) 5,000円
(学 生) 1,000円

会場アクセス 横浜市営地下鉄ブルーライン「横浜」駅9番出口より徒歩4分
JR横浜駅みなみ西口より徒歩5分



出欠登録(委任状の送付)、会員情報の変更はWebの利用をお願いします

個人情報の管理、経費削減、事務負担の軽減等の観点から、Webでの出欠登録(委任状の送付)を原則とさせていただき、郵便はがきやそれ以外の方法はご希望の方のみの取り扱いとさせていただきます。ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

<出欠登録(委任状の送付)方法> 登録期限：5月22日(金)

Web【原則】：光陵会ホームページ(<http://koryokai.jp/>)内の専用フォーム

郵便はがき：会報同封のはがきに記入して郵送



総会・懇親会
出欠フォーム

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。